

## 東日本大震災7周年 報告会

### 『震災と地域：気仙沼の人びとはどう試練に向き合い、立ち直ってきたか？～現状と課題と展望と～』

シェアは2011年3月11日の歴史的な大震災の後、宮城県気仙沼市に入り、行政や地元の保健・医療関係者と協力し活動を行いました。その活動時より強い信頼関係と絆でつながってきた気仙沼市のNPO生活プロジェクトKの方々をお招きし、気仙沼の現状と課題、そして今後の展望についてお話しします。

プロジェクトKは東日本大震災後の2011年8月に地元の保健福祉関係者を中心に設立された、宮城県気仙沼市で被災された方々の生活・健康支援を行うNPO法人です。

震災後7年目を迎えようとする今日、気仙沼では、インフラ面での地域の復興が急速に進んでいる一方、過疎化、介護、復興住宅、防潮堤、高台移転などさまざまな矛盾や課題に直面しています。また、住民間の分断や孤立化、稼働層の人口流出などの懸念も生まれています。世界的に見ると、SDGsにおいても、災害に対する予防や、「誰一人取り残されない」救援や復興のあり方が、「持続可能な開発」の目標としても重視されるに至っています。2018年の春という発災7年目の節目を機会に、気仙沼の現状をみなさんに知っていただきたく報告会として開催することとなりました。

――記――

タイトル：震災と地域：気仙沼の人びとはどう試練に向き合い、立ち直ってきたか？

日時：2018年3月17日（土）14：00～17：00

会場：女子栄養大学 香川綾記念生涯学習センター3階

参加費：無料

主催：特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会

協力：特定非営利活動法人 生活支援プロジェクトK

シェア（SHARE）とは・・・

医師・看護師・学生などが中心になり、1983年に結成された国際保健NGOです。“いのちを守る人を育てる”保健医療支援活動をカンボジア、東ティモール、日本で勤めています。

問い合わせ先

（認定）特定非営利法人シェア＝国際保健協力市民の会

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 5F

TEL：03-5807-7581 FAX：03-3837-2151 E-mail：info@share.or.jp